

令和3年1月18日

令和3年

第1回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和3年1月18日（月曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	
北 内 英 章	委 員	

2 出席職員（11名）

教育総務部長	玉 川 一 二
教育総務課長	政 木 純 也
教育施設担当課長	鈴 木 龍 一
副参事（教育地域力担当）	丹 野 詩 織
副参事（施設調整担当）	荒 井 昭 二
学務課長	柳 沢 憲 一
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	岩 崎 政 弘
副参事	早 川 隆 之
副参事（法務担当）	平 栗 敬 子
学校職員担当課長	池 一 彦
教育センター所長	柿 本 伸 二

3 日程

日程第1 教育長の報告事項



(午後 2 時 00 分開会)

○教育長

ただいまから、令和 3 年第 1 回大田区教育委員会定例会を開催いたします。
本日は傍聴希望者がおります。
委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

それでは、大田区教育委員会傍聴規則第 7 条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染の拡大を防止するため、マスク着用の上で審議をさせていただきます。効果的な会議運営にご協力をお願いいたします。

これより議事審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に弘瀬委員をご指名いたします。よろしくお願いいたします。
それでは、続いて本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第 1 は「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは、私から 1 点報告をさせていただきます。

報告の内容につきましては、先週の土曜日、16 日に開館した田園調布せせらぎ館における、建築家の隈研吾氏による講演会についてでございます。

田園調布せせらぎ館は区民の方の地域活動や文化活動の促進、憩いの場として開館いたしました。教育委員会が所管する図書館の機能もありまして、図書の貸し出し、返却などもできるようになっております。

そしてこのせせらぎ館を設計したのは建築家の隈研吾さんでございます。

隈研吾さんは、新国立競技場を設計した世界的な建築家として知られるところでございます。また、隈研吾さんは、田園調布小学校の卒業生でございます。

今回のせせらぎ館の開館にあたりまして、セレモニーのあと、講演会を開きました。

この講演会は当初、せせらぎ館で隈研吾氏が講演し、せせらぎ館と体育館にいる田園調布中学校の生徒たちをオンラインでつないだ形式で講演をするという予定でした。ただ、

この緊急事態宣言の中で体育館に集合して聞くというのはなかなか難しいということで、せせらぎ館と各家庭をオンラインでつなぎ、生徒さん、それから親御さんが聞くような形で講演が開催されました。

ただ、せせらぎ館のほうには中学校の生徒会、中学校の生徒さんが5名ほど、生徒会も含めて、青少対の方も参加されていて、直接、隈研吾さんのお話を聞いて質問をするというような形がとられておりました。このせせらぎ館には、中学生のほかに区長以下、私も含めて数名の大人も拝聴させていただくという感じでした。

その話の中で、講演会の中で印象に残ったことを3点ご報告させていただきたいと思います。

まず1点目は、せせらぎ館のデザインにあたって、アイデアがすぐに浮かんだのですかという中学生の質問に答えての内容です。隈研吾さんは、せせらぎ館のほうはすぐアイデアが浮かんだと言っておりました。というのは、あそこに多摩川園という遊園地があって、そこによく行って、その自然とか状況をよく分かっていた。国分寺崖線の端にあたりますので、緑の豊かなところで、滝のようなものが流れて、いわゆる遊園地と言っても非常に自然に恵まれた場所で、よく馴染みがあったので、アイデアはすぐ浮かんだ。縁側というのですね、広く日本の建物にある、縁側にいるような形にして、光がとても入る、そういうイメージしたと言っておりました。

小学生からの、小さいときに受けたこの自然観であるとか、町の様子であるとか、そういうものは、子供たちの印象に強く残るのだと思いました。

その中で、やはり子供たちも隈さんだけではなくて、子供たちも土地の自然であるとか、文化であるとか、人であるとか、そういうもの全体を受けて育っていく、その時のイメージというのは非常に強いものがあるし、大事だということが、お話を聞いていて考えたところです。

隈さんの建築は非常に木材、木をふんだんに使っておられて、温かみのあるものですが、やはりそのような民家の縁側の感じというイメージがすぐに浮かんだということで、いいお話だったなと思っております。

私の中で興味深かった2点目は、これもやはり質問で、なぜ海外に出て有名な建築家になっていったのかというところで、ちょうど田園調布小学校の校長先生が小学校のときに、海外に出て活躍しなさいというような講話をされたようです。それは、日本にいるときにはなかなか総理大臣だとか、そういう方には会えないのだけれども、海外に出て活躍すれば、いろんな、高名な、地位のある人にも会えますよというような話をして、その言葉が心であって、建築を志すときに、海外やいろんなところに行って見てきたというお話をされておりました。実際にイギリスで建物を建てたときには、エリザベス女王とお会いしたというお話をお聞きしました。

小学校のときの校長先生の話なのですけれども、そのような言葉が心に残っていて、子供たちに、モチベーションになるということもあるのかなと思ひまして、非常に印象に残りました。

3点目、印象に残った言葉は、私も建築家になりたいという中学生がおられて、どうすればいいのかということを知ったときに、隈さんのお答えの中には、広くいろんなものを見てくださいというようなことをごさいました。例えば建築そのものは一人で出来るも

のではなくて、いろんな方の協力の中で、むしろいい建築をすることが出来る。仲良く、親和的に協力できる。建築の専門的なことも非常に大事だけれども、広く、協力して、気持ちよく仕事ができる、そういう雰囲気を作ることが大事ですよというような、当たり前と言えば当たり前なのですけれども、人間として大事にするもの、友達をたくさん作ってくださいと、そういう話をしていました。

そういう意味では非常に一般的な、専門家である前に大事なことというのですかね、中学生の中でも参考になるお話が聞けたのではないかと思います。隈さんの講演は40分ほどでしたが、大人もいたのですけれども、どうも視線は子供のほうに向いて、ずっと子供に語りかけるようにお話をしていました。実際にそのようなお話を聞いた子供たちは非常に印象に残ったのではないかと思います。

いずれにしても、一流の建築家、また地域にはさまざまな活躍している方がいらっしゃるので、そういう、いろんな生き方を、子供たちがお話を聞く、学ぶことというのはやはり非常に大事でありますし、大人への信頼感なり尊敬であるとか、そういうことにつながると思っております。

そういう意味では、地域に開かれた教育課程ではないですけれども、本当に身近な大人の方からお話を聞く、そのような教育をぜひ進めていければと思います。

今、直接お話を聞けなくても、オンラインでさまざまな話を聞くことのような機会を持っていければと思っています。

それでは、私の報告は以上でございますけれども、委員の皆様方、何かご質問または報告がありましたらお願いします。

○三留委員

今教育長からせせらぎ館の話があったのでせせらぎ館のことと、それからもう一つは、緊急事態宣言下の学校教育ということで、ちょっとお話をさせていただきたいなと思っています。

せせらぎ館ということで、私、実は今日せせらぎ館に行ってみりました。16日に開館ということですから、開館して3日目ということのようです。

多摩川駅前の大変近いところで、本当に隈研吾さんを据えてということで、大変斬新な建物だなという印象を受けました。

中に入るとせせらぎ文庫だとか、それから地域に関わる展示なんかもしてあって、区民の、住人たちの、いろいろ交流できるような形になっているなど。特に休憩スペース、これがしっかりあって、休憩スペースがしっかりしているのはいいなと思いました。地域の方々がそこで集って、いろんなことができるなど。喫茶スペースもあるのですが、そんな感じがしました。

趣味だとか交流の場として、さらにこれから大いに活用されていくのじゃないかなと、そういう印象を受けました。

それから2点目は、緊急事態宣言が出て、今も学校教育が続けられているということで、学校については本当に各学校で感染症の対策をしながら教育活動を工夫して行っていることをすごく感じております。教育委員会もさまざまな支援をいただいていることは承知しておりますが、一層いろいろ支援していただきたいなという気持ちでお

ります。

また、その先生方から話を聞くと、毎日授業ばかりだという話をよく聞きまして、なかなか行事だとか特別活動に、なかなかできないというジレンマがすごくあるようです。

私はやはり、このコロナ禍ですごく感じるころなのですけれども、学校行事が、やはり学校教育のメリハリだとか、子供たちの活動の意欲だとか、それからやる気だとか、そんなものにつながるようになっていないのかなということ、その学校行事の大切さということは今すごく感じているところです。

卒業式とか入学式というのはこれからやられると思うのですが、やっぱり来賓はなしにしても、こじんまりとしてもしっかり儀式的行事をやっていくということは、私は大事だと思っています。

それから、移動教室等、やはり子供の目で、今年の6年生などはなかなかできなかったという悔しい思い出があるのですが、移動教室等も、期間を短縮してでも実施できるような形で方向付けしていただけるといいなと感じております。以上です。

○教育長

他にはございませんか。

○北内委員

北内です。

私も田園調布せせらぎ館の開館、こういう状況なのでオンラインで出席させてもらいました。隈研吾さんのお話があって、教育長の話と全く同じです。子供たちにいろんなことを学んで、そして友達をいっぱい作ってほしいというメッセージがありました。きっと子供たちに響いたろうなと思います。本当に貴重な機会だったと思います。

池上第二小学校で区長がお話しされたのを思い出しました。小学生だったころに航空会社の社長さんがお話に来られて、そのときに区長が子供のとき、俺も頑張るぞと思ったと、きっとそういう機会等はとても大切だと思います。

ぜひ引き続き、大田区って人材の宝庫だと思うので、そういう機会をどんどん、学校だけじゃなく地域、PTA、保護者さんで進めていきたいと思いました。

それから、今池上会館でやっている小学校連合書写展、拝見させていただきました。コロナ禍で子供たちとどういう、触れ合っているのかなと。でも、本当に美しくて力強い作品ばかりで、逆に私たちも頑張らないといけないなと、すごい実感しました。本当に。感動しました。

あと、今日三留委員からありましたけれども、コロナ禍で多くの、恐らく多くの保護者さんからの要望だと思うのですが、やっぱり学業をとめないで、多様な教育機会を作って進めてほしいなと思います。

毎度のことになるのですが、コロナ禍だからこそ、学校、地域、保護者、PTAのコミュニケーションは本当にすごく大切だと思うのですよ。それぞれの立場でできること、できないことあると思うのですよ。そこを、腹を割ってしゃべって、コミュニケーションしてほしいなと思うのですよ。

学校のできる範囲、PTAのできる範囲ってあるので、ぜひ、そこをコミュニケーショ

ンで努めてほしいなと思いました。

以上です。

○深澤委員

深澤でございます。

今北内委員のおっしゃったコミュニケーションが大事だということ、私も本当にそのとおりだなと思っています。

今のこの世の中は、先が見通せない、誰にも分からないような状況です。けれども生活は続けて行かなければいけない。では進むべき道をどのように決めていくかと言ったときに、やはり情報を収集することが大切です。大田区の教育委員会でいけば、学校の校長先生や現場の先生方のご意見や、あとPTAや保護者の方々、地域の方々のご意見を伺いながら、情報収集して、それを分析して、何が最適か、この先の見えない状況の中で、何が最適かということを考えていくと、それを数人じゃなくて大勢の意見を聞いて考えていくと、そうすることによってコンセンサスが取れて、最良の結論になっていくのではないかと思います。

ですので、北内委員のおっしゃったように、やはりコミュニケーションというのは本当に大事で、こういう時期であるからこそ、コミュニケーションをよりとっていくということが必要なのではないかと考えております。

せせらぎ館に関しては、私も参加したかったのですが、お話を伺っていると、温かい雰囲気講義の様子に手が取るように分かりました。同窓生が世界的な建築家で、その方が、子供たちに語りかけてくださるということは非常に貴重な機会であって、そういうご縁を大切にしていこうということが、やはり将来の子供たちの成長にとっても欠かせないものであり、大切なのではないかと話を伺って思いました。

感想ですけれども、以上です。

○教育長

ありがとうございました。高橋委員。

○高橋委員

北内委員と同じように、池上会館の書写展を拝見させていただきました。

とても皆さんお上手で、記名に至るまで丁寧に書かれていて感動いたしました。

特に、1年生と2年生は硬筆ですが、本当に丁寧に、見本どおりに書かれていて、こんなに美しい字を書いていたら、将来楽しみだなと、そのように感じました。指導していただいた先生方に敬意を表したいと思います。ありがとうございます。

以上です。

○弘瀬委員

コロナ禍で世の中が大変なことになっています。今感染源として一番多いのが無症状な若者たちです。感染の引き金になっているのは、みんなで食べたり飲んだり、マスクを外して大声で話したりする行為と言われています。これらの行為は、感染源になりうる行為

であることを自覚していただいで注意していただくことが大事だと思います。

また、子供たちに関しては、手洗い、うがい、マスク着用など十分に身につけてきていると思われます。そのために、子供たちが感染することや子供同士の感染症が少ないと言われています。今見られるのは大人からの家族内感染が多いようです。家族内感染を起こさないためにも大人が感染源となつてご家族の中に持ち込まないように注意することが重要と思われます。

そして、そろそろワクチンの話も出始めています。ワクチンは現在3社ほどが話題になってきています。一番早く接種可能なワクチンがファイザー社のものと言われています。ファイザーのワクチンはマイナス70度で保存されてきます。これからどのように接種するのか、集団接種なのか、開業医を含め各医療機関での個別接種が可能かどうかどうなど接種前に検討すべきことがたくさんあります。さらに一度解凍した場合何日間保存が可能なのかなどまだまだ情報が不十分です。これから徐々にワクチンの話題がいろいろなところで始めることでしょう。

今最も気になるところは、初めてのメッセンジャーRNAのワクチンであるということのでどのような副作用が出てくるかということも、まだ十分わかっていません。

しかし、今のところ言われていることは、アナフィラキシーショックは、これは普通のワクチンより若干多いのではないかとされています。そのほか筋注なので痛いこと、接種部位が腫れる、関節の痛み、あるいは熱が出るなど普通のワクチンと同じような症状が挙げられますが、あくまでもアメリカから発信された情報なので、日本人での接種結果が出るようになると実感が湧いてくると思います。何れにしても一番初めに接種するワクチンは今のところファイザー社のワクチンになると思われます。

また新しい情報がありましたら、随時皆様にお話しできればと考えております。よろしくお願ひいたします。

○教育長

よろしいですか。ほかにご質問、ご意見、よろしいですか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、本日はこれもちまして、令和3年第1回教育委員会定例会を閉会といたします。

どうもありがとうございました。

(午後2時23分閉会)